

2. 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで）

DPCは主要診断群、分類コード、年齢・体重・JCI条件、手術等サブ分類、手術・処置、副病名、重症度などを表す14桁のコードでコーディングしています。厚生労働省はこのDPCコードを使って診療報酬を定めています。診療報酬請求に使用するため、入院中に医療資源を最も投入した傷病名や手術・処置でコードを決めています。したがって、実際に診療した病名とは異なる場合があります、診療科実績と異なる値になります。

各診療科の上位 5 位までの病名について患者数、平均在院日数、転院率、平均年齢をお示しします。DPCコードの治療時に適用されている主要なクリニカルパス[※]については、表の患者用パス名称をクリックするとご覧いただけます。

※クリニカルパスとは、入院中に行われる検査・処置・指導・看護・食事などを入院から退院までの時間順にまとめた表です。各施設の標準的な診療計画で、適用できる患者状態を決めて、質の高い治療を安全に効率的に受けられるようにしています。患者への説明に使うものを患者用パスといいます。

令和7年度 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで）

【定義】

- ・DPCコード14桁で集計する

循環器内科

DPCコード	公開用D P C 名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
050070xx03x0xx	頻脈性不整脈 経皮的カテーテル心筋焼灼術 手術・処置等 2 なし	689人	4.26日	4.43日	0.15%	68.53歳
050050xx0200xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手術・処置等 1 なし、1, 2 あり 手術・処置等 2 なし	144人	3.76日	4.12日	0.00%	73.49歳
050210xx97000x	徐脈性不整脈 手術あり 手術・処置等 1 なし、1, 3 あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	134人	6.30日	9.57日	2.24%	78.19歳
050050xx9910xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等 1 1 あり 手術・処置等 2 なし	102人	2.75日	3.10日	1.96%	75.71歳
050130xx9900x0	心不全 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし 他の病院・診療所の病棟からの転院以外	83人	16.95日	17.31日	20.48%	78.89歳

コメント文

心房細動を主とする頻脈性不整脈に対してアブレーション治療を受ける患者さんが多く、次いで、冠動脈疾患患者に対する検査・治療目的での入院患者さん、徐脈に対して永久ペースメーカー植え込みを行う患者さん、心不全入院の患者さんの順で多くなっています。各コードの患者群いずれにおいても在院日数は全国平均よりも少なく、効率的な診療を行っていることが示されています。心不全はほとんどが緊急入院で、三次救急を受け入れている当院では他院と比べても重症例の割合が多いと思われる中で在院日数は平均以下であることは、転院の割合が高いことと合わせて、地域その他医療機関との連携がうまく機能していることを示唆します。

糖尿病・内分泌内科

DPCコード	公開用D P C 名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
10007xxxxxx1xx	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。） 手術・処置等 2 1 あり	41人	11.95日	13.56日	2.44%	67.98歳
100020xx010xxx	甲状腺の悪性腫瘍 甲状腺悪性腫瘍手術 切除（頸部 外側区域郭清を伴わないもの）等 手術・処置等 1 なし	31人	8.71日	7.85日	0.00%	68.52歳
100020xx99x5xx	甲状腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 5 あり	31人	11.16日	8.67日	0.00%	60.29歳
100020xx99x2xx	甲状腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 2 あり	25人	11.16日	5.76日	0.00%	56.52歳
100040xxxxx00x	糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡 手術・処 置等 2 なし 定義副傷病 なし	22人	14.41日	12.83日	9.09%	53.68歳

コメント文

甲状腺癌術後放射性ヨード内用療法のための部屋を2室保有しています。平均在院日数の全国での分布は二峰性になっており当院は長い期間の方に属します。高血糖の緊急入院で高齢の症例では血糖が正常化してからもインスリン手技習得など退院・転院までに時間がかかっております。神経内分泌腫瘍のペプチド受容体放射性核種療法（PRRT）や、甲状腺眼症に対するテプロツムマブ療法の初回入院もしております。

腎臓内科

DPCコード	公開用D P C 名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
110280xx9900xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	53人	5.15日	11.00日	0.00%	52.23歳
110280xx991xxx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等 1 あり	45人	5.76日	5.91日	0.00%	52.07歳
110280xx9902xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 2あり	25人	4.92日	7.78日	4.00%	67.92歳
110280xx02x1xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術、吻合術 その他の動脈等 手術・処置等 2 1あり	24人	18.96日	32.55日	16.67%	73.46歳
110290xx99x0xx	急性腎不全 手術なし 手術・処置等 2 なし	20人	11.00日	13.26日	10.00%	77.05歳

コメント文

当科では腎臓病の原因を診断するための腎生検からその治療まで、一貫した診療を行うことができるので、引き続き積極的に対応していく。

脳神経内科

DPCコード	公開用D P C 名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
010060xx99x20x	脳梗塞 手術なし 手術・処置等 2 2あり 定義副傷病 なし	182人	13.24日	16.60日	31.87%	73.11歳
010080xx99x0x1	脳脊髄の感染を伴う炎症 手術なし 手術・処置等 2 なし 15歳以上	70人	15.90日	15.35日	12.86%	52.09歳
010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	64人	8.16日	6.63日	12.50%	62.50歳
010040x099000x	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）（JCS10未満） 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	62人	17.06日	18.40日	72.58%	68.08歳
010040x199x0xx	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）（JCS10以上） 手術なし 手術・処置等 2 なし	35人	21.94日	21.85日	74.29%	71.86歳

コメント文

脳神経内科の救急疾患として多いものは脳梗塞、脳出血、てんかんの重積、脳神経系の感染症です。てんかんの重積（痙攣が止まらない状態）は高齢化と共に増加しています。高齢者では脳の小さな傷が原因で生じる症候性てんかんが多数を占めます。脳梗塞患者のうち一部の症例は、血栓溶解（rt-PA）や急性期血行再建（カテーテルを用いて血流を再開させる）の適応になります。脳梗塞は高血圧、糖尿病、高脂血症を背景とする脳動脈硬化や不整脈が原因となります。脳神経系の感染症の中で最も重症なのは細菌性髄膜炎とウイルス、真菌、結核などによる脳炎です。当院ではこのような重症患者を多く治療しています。（DPCデータでは細分化されているため上記となりますが、実際には脳梗塞：約380例/年、脳出血：約120例/年、てんかん・けいれん：約130例/年、の診療をしています）

消化器内科

DPCコード	公開用D P C 名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
060340xx03x00x	胆管（肝内外）結石、胆管炎 限局性腹腔膿瘍手術等手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	264人	7.17日	8.76日	8.71%	73.73歳
060100xx01xxxx	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。） 内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	191人	2.35日	2.56日	0.00%	69.52歳
060020xx04xxxx	胃の悪性腫瘍 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術	141人	6.21日	7.37日	0.00%	74.04歳
06007xxx97x0xx	膵臓、脾臓の腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等 2 なし	73人	8.82日	11.27日	5.48%	71.89歳
06007xxx9910xx	膵臓、脾臓の腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 あり 手術・処置等 2 なし	61人	4.18日	4.04日	0.00%	73.15歳

コメント文

総胆管結石・胆管炎に対し、内視鏡的結石除去をおこなう患者が最も多くなっています。その大半が、地域からの依頼の緊急入院患者です。NSAID s ・抗血栓薬を内服する高齢者が増加しており、上部では消化性潰瘍出血・下部では憩室出血の止血目的緊急入院患者も多く見られます。悪性疾患では、肝細胞癌に対するIVR治療（TACE/RFA）、早期癌に対する内視鏡切除（ESD）が多くなっています。昨今は、大腸癌死亡を抑制するため、クリーンコロンを目指して、積極的な大腸ポリープ切除を心がけています。平均在院日数は、全国のDPC病院で最も短い日数で運用されています。

呼吸器内科

DPCコード	公開用D P C 名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
0400802499x0xx	肺炎等（市中肺炎かつ75歳以上） 手術なし 手術・処置等 2 なし	119人	13. 62日	16. 10日	24. 37%	83. 61歳
040110xxxx00xx	間質性肺炎 手術・処置等 1 なし 手術・処置 等 2 なし	64人	15. 39日	18. 39日	23. 44%	74. 95歳
040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等 2 なし	57人	16. 35日	20. 49日	61. 40%	79. 68歳
040040xx9905xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 5あり	44人	12. 86日	18. 96日	0. 00%	73. 07歳
040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	37人	11. 51日	13. 45日	27. 03%	73. 84歳

コメント文
間質性肺炎、肺炎, 肺癌の3疾患が入院患者の大多数を占め、特に間質性肺炎が人工呼吸を行う重症例も含めて特に多い点が当科の特徴です。

血液内科

DPCコード	公開用D P C 名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
130030xx99xBxx	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2 Bあり	73人	12.95日	11.45日	2.74%	70.51歳
130030xx99x7xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2 7あり	36人	11.50日	12.27日	2.78%	69.42歳
130030xx99x4xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2 4あり	32人	9.41日	8.09日	6.25%	63.78歳
130030xx99x0xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処置等2 なし	31人	10.87日	8.66日	16.13%	71.39歳
130040xx99x5xx	多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物 手術なし 手術・処置等2 5あり	30人	16.27日	13.99日	6.67%	72.63歳

コメント文

非ホジキンリンパ腫に対しては、3週間隔で6回繰り返す治療や、4週間隔で4-6回繰り返す治療があります。いずれも初回の治療は入院して行い、治療効果と有害事象を慎重に確認します。十分な効果が得られ、重大な有害事象を起こさなければ、2回目以降の治療は外来で行います。初回治療の入院期間は年々短縮する傾向にあります。高齢患者さんや、併発症のある患者さんなどでは2回目以降も入院で行うこともあります。急性白血病の治療は、従来強力な化学療法がおこなわれ、1コースの治療で1か月程度の入院を要してきました。近年高齢者においては外来治療も可能な薬剤が登場し、外来での治療が増加しています。

腫瘍内科

DPCコード	公開用D P C 名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
060010xx99x40x	食道の悪性腫瘍（頸部を含む。） 手術なし 手術・処置等 2 4あり 定義副傷病 なし	26人	9.85日	8.41日	0.00%	72.54歳
060035xx99x0xx	結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 なし	11人	12.55日	7.74日	27.27%	77.27歳
060020xx97x2xx	胃の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置 等 2 2あり	10人	19人	26.74日	10.00%	74.30歳
060010xx99x41x	食道の悪性腫瘍（頸部を含む。） 手術なし 手術・処置等 2 4あり 定義副傷病 あり	—	—	13.89日	—	—
060020xx9900xx	胃の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	—	—	10.78日	—	—

コメント文

当科では手術不能進行・再発胃癌、大腸癌に対して積極的に化学療法を行っていますが、外来化学療法はDPCの集計には数字として計上されていません。食道癌の術前化学療法、結腸癌・胃癌の初回化学療法は入院で行うことが多く、実施件数が増えていることを反映しています。

総合内科

DPCコード	公開用D P C 名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	85人	12.82日	13.42日	27.06%	72.44歳
180010x0xx0xx	敗血症（1歳以上） 手術・処置等 2 なし	82人	20.48日	19.80日	42.68%	77.02歳
100393xx99xxxx	その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害 手術なし	48人	10.50日	9.42日	22.92%	72.13歳
040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等 2 なし	35人	21.11日	20.49日	42.86%	83.97歳
180030xxxxxx0x	その他の感染症（真菌を除く。） 定義副傷病なし	25人	12.08日	8.57日	12.00%	64.52歳

コメント文

比較的短期間で検査や治療ができています。

小児科

DPCコード	公開用D P C 名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
080270xxxx1xxx	食物アレルギー 手術・処置等 1 あり	207人	1. 10日	2. 10日	0. 00%	6. 21歳
180030xxxxxx0x	その他の感染症（真菌を除く。） 定義副傷病なし	157人	3. 90日	8. 57日	0. 00%	1. 78歳
040100xxxxx00x	喘息 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	83人	4. 65日	6. 32日	0. 00%	3. 51歳
060380xxxxx0xx	ウイルス性腸炎 手術・処置等 2 なし	39人	3. 26日	5. 49日	0. 00%	4. 18歳
050200xxxxxxxx	循環器疾患（その他）	36人	9. 42日	7. 72日	0. 00%	13. 36歳

コメント文
当科は神戸市の小児救急医療を担う病院として、感染症、喘息などの急性疾患を幅広く診療しています。一方、食物アレルギーをはじめとするアレルギー疾患の専門診療にも力を入れています。 令和7年度は、食物アレルギーが最も多く、その他の感染症、喘息、ウイルス性腸炎が続いており、専門的なアレルギー診療と小児急性期医療の双方を担っていることが当科の特徴です。クリニカルパスなどを活用し、標準的かつ効率的な入院診療に努めています。

新生児科

DPCコード	公開用D P C 名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
140010x199x0xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害 (2500g以上) 手術なし 手術・処置等 2 なし	126人	5.17日	6.18日	0.00%	0.00歳
140010x299x0xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害 (1500g以上2500g未満) 手術なし 手術・処置等 2 なし	55人	10.22日	11.97日	1.82%	0.00歳
140010x199x1xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害 (2500g以上) 手術なし 手術・処置等 2 1あり	44人	7.80日	10.46日	4.55%	0.00歳
140010x197x1xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害 (2500g以上) 手術あり 手術・処置等 2 1あり	16人	11.56日	12.01日	0.00%	0.00歳
140010x299x1xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害 (1500g以上2500g未満) 手術なし 手術・処置等 2 1あり	13人	18.77日	23.97日	7.69%	0.00歳

コメント文

新生児科では、早産や低出生体重に関連する新生児を中心に診療しています。新生児の診断群分類は、出生体重に加え、新生児仮死に対する蘇生や呼吸管理など、出生後に必要となった処置・治療によって分類されています。

令和7年度も、出生体重2,500g以上の新生児から1,500～2,500g未満の低出生体重児まで幅広く診療しています。より多くの処置や治療を必要とする新生児では入院期間が長くなる傾向があります。出生直後からそれぞれの新生児の状態に応じた適切な管理を行い、安全な新生児医療の提供に努めています。

外科

DPCコード	公開用D P C 名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
060160x001xxxx	鼠径ヘルニア（15歳以上） ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	134人	2.69日	4.56日	0.00%	72.33歳
060335xx0200xx	胆嚢炎等 腹腔鏡下胆嚢摘出術等 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし	101人	4.90日	7.05日	1.98%	64.52歳
060035xx0100xx	結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍 結腸切除術全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術等 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし	84人	12.14日	14.80日	0.00%	72.07歳
060330xx02xxxx	胆嚢疾患（胆嚢結石など） 腹腔鏡下胆嚢摘出術等	74人	2.35日	6.00日	1.35%	63.09歳
060150xx03xxxx	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの等	71人	3.42日	5.36日	1.41%	38.77歳

コメント文

良性疾患で最も多いのが鼠径ヘルニア手術です。クリニカルパスでは手術当日入院・翌日退院としており、それにより平均在院日数は2.6日と全国平均より大きく短縮されています。また予定された胆嚢摘出術も同様に手術当日入院・翌日退院としており、平均在院日数は2.4日と全国平均より大きく短縮されています。悪性疾患の手術は結腸癌が多く、緊急手術を除くとほぼ全例が腹腔鏡下、またはロボット支援下手術、のいわゆる「低侵襲手術」を行っており、入院期間は全国平均に比べ大きく短縮されています。

このように、当院は低侵襲手術を積極的に取り入れることで、術後の合併症が少なく早期に退院できていることが判ります。

乳腺外科

DPCコード	公開用D P C 名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
090010xx010xxx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴うもの（内視鏡下によるものを含む。））等 手術・処置等 1 なし	121人	7.97日	9.76日	0.00%	63.50歳
090010xx02xxxx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わないもの）	109人	3.17日	5.44日	0.00%	61.65歳
090020xx97xxxx	乳房の良性腫瘍 手術あり	26人	2.31日	3.95日	0.00%	48.54歳
090010xx99x0xx	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 なし	10人	8.90日	9.68日	20.00%	64.00歳
090010xx99x2xx	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 2あり	—	—	25.32日	—	—

コメント文

乳房の悪性腫瘍の大部分は乳癌です。乳癌を含んでいる乳房の一部分を取るのが乳房部分切除術で、乳癌を含んでいる乳房を全部取るのが乳房切除術です。乳癌から最初に流れ込む腋の下のリンパ節を取ってそこに乳癌が転移しているかどうかを調べる方法をセンチネルリンパ節生検といいます。乳癌から最初に流れ込むリンパ節に乳癌がわずかしかな転移していない場合、それ以上腋の下のリンパ節を取ることはしません。このことを腋窩部郭清を伴わないもの、として表現します。乳癌から最初に流れ込むリンパ節にある程度以上転移が見つかった場合、その周囲の転移する可能性のある脇の下のリンパ節をほぼ全部取ることを腋窩部郭清を伴うもの、と表現しています。

心臓血管外科

DPCコード	公開用D P C 名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
050080xx0101xx	弁膜症（連合弁膜症を含む。） ロス手術（自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術）等手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 1 あり	64人	19.05日	20.68日	3.13%	70.00歳
050080xx0100xx	弁膜症（連合弁膜症を含む。） ロス手術（自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術）等手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	35人	15.49日	16.38日	2.86%	69.89歳
050163xx02x0xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 大動脈瘤切除術（吻合又は移植を含む。） 腹部大動脈（分枝血管の再建を伴うもの）等 手術・処置等 2 なし	25人	15.32日	15.36日	0.00%	73.16歳
050163xx03x0xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 ステンントグラフト内挿術 手術・処置等 2 なし	25人	8.32日	10.25日	8.00%	79.20歳
050050xx0101xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 心室瘤切除術（梗塞切除を含む。） 単独のもの等 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 1 あり	23人	15.52日	21.48日	0.00%	67.78歳

コメント文

一次性の僧帽弁閉鎖不全症に対しては、ほぼ100%僧帽弁形成術を行っております。僧帽弁形成術の約半数でMICS（小開胸による手術）を行っております。腹部大動脈瘤に対しては、3分の2で治療が確実な開腹手術、3分の1が低侵襲なステントグラフト内挿術となっています。冠動脈バイパス術では、90%以上で、人工心肺装置を使用せずに行っています。

呼吸器外科

DPCコード	公開用D P C 名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
040040xx02x0xx	肺の悪性腫瘍 肺悪性腫瘍手術 肺葉切除又は 1 肺葉を超えるもの等 手術・処置等 2 なし	161人	9.41日	9.75日	1.86%	70.89歳
040200xx01x00x	気胸 肺切除術等 手術・処置等 2 なし 定義 副傷病 なし	24人	5.71日	9.44日	0.00%	36.25歳
040010xx01x0xx	縦隔悪性腫瘍、縦隔・胸膜の悪性腫瘍 縦隔悪 性腫瘍手術等 手術・処置等 2 なし	16人	6.88日	8.46日	0.00%	60.56歳
040030xx97xxxx	呼吸器系の良性腫瘍 手術あり	10人	6.90日	8.45日	0.00%	66.40歳
080240xx97xxxx	多汗症 手術あり	10人	2.00日	2.75日	0.00%	25.50歳

コメント文

呼吸器外科の入院患者は手術目的が大半で、肺がん・気胸・縦隔良腫瘍の順です。上位5つのすべての疾患で全国平均より短い入院期間となっています。特に気胸は麻酔科、手術部の協力により当日または翌日に手術を行える環境で、出来るだけ早期に社会復帰をいただくことを目指しており、その結果が表れています。縦隔腫瘍においては胸骨正中切開を回避しロボット手術が可能となる症例が増加したことから全国平均より短い入院期間となっています。また、手掌多汗症においても若い患者さんが多いことから当日入院、翌日退院の2日で完結しています。早期の社会復帰を目標として引き続き低侵襲手術の実践と安全面を考慮した適切なアプローチ選択を行っていきたいと考えております。

脳神経外科

DPCコード	公開用D P C 名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
010030xx991xxx	未破裂脳動脈瘤 手術なし 手術・処置等 1 あり	167人	2.46日	2.80日	1.80%	64.11歳
160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	78人	4.91日	9.62日	28.21%	75.33歳
010030xx02x0xx	未破裂脳動脈瘤 脳血管内手術 手術・処置等 2 なし	49人	6.16日	8.56日	0.00%	65.61歳
160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	48人	4.85日	7.84日	29.17%	67.92歳
010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	21人	5.76日	6.63日	0.00%	63.24歳

コメント文

当院の脳神経外科では、できるだけ負担の少ない、手術後スムーズな回復を目指した治療を行っており、平均在院日数が全国平均よりも短くなっています。治療方針を決定するため、未破裂脳動脈瘤や脳血管障害では精密検査を目的とした脳血管造影検査入院を行っています。未破裂脳動脈瘤の治療としては脳血管内手術を行うことが多いですが、症例によっては頸部クリッピング手術を選択しています。当科の詳細な治療実績については診療科別統計も併せてご覧ください。

整形外科

DPCコード	公開用D P C 名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
160800xx02xxxx	股関節・大腿近位の骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	155人	18.46日	24.75日	83.87%	78.48歳
070230xx01xxxx	膝関節症（変形性を含む。） 人工関節再置換 術等	123人	12.29日	21.21日	93.50%	75.64歳
07040xxx01xxxx	股関節骨頭壊死、股関節症（変形性を含む。） 人工関節再置換術等	87人	12.36日	18.55日	89.66%	69.60歳
160720xx01xxxx	肩関節周辺の骨折・脱臼 骨折観血的手術 肩 甲骨、上腕、大腿等	39人	11.03日	13.89日	30.77%	64.95歳
160850xx01xxxx	足関節・足部の骨折・脱臼 骨折観血的手術 鎖骨、膝蓋骨、手（舟状骨を除く。）、足、指 （手、足）その他等	29人	16.24日	18.15日	44.83%	50.83歳

コメント文

高齢化の進んだ日本においては、退行変性による変形性関節症、骨粗鬆症に伴う脆弱性骨折（大腿骨近位部骨折、上腕骨近位端骨折、橈骨遠位端骨折など）が増加の一途を辿っています。当院では早期手術、早期リハビリテーション、密接な地域連携により全国平均より短い在院日数で治療を行っています。

皮膚科

DPCコード	公開用D P C 名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
080010xxxx0xxx	膿皮症 手術・処置等 1 なし	82人	11.24日	13.00日	13.41%	59.02歳
080006xx01x0xx	皮膚の悪性腫瘍（黒色腫以外） 皮膚悪性腫瘍 切除術等 手術・処置等 2 なし	77人	4.49日	6.76日	1.30%	76.87歳
080020xxxxxxxx	帯状疱疹	42人	9.52日	9.44日	9.52%	71.07歳
080007xx010xxx	皮膚の良性新生物 皮膚、皮下腫瘍摘出術（露 出部）等 手術・処置等 1 なし	34人	4.00日	3.76日	0.00%	50.91歳
080190xxxxxxxx	脱毛症	24人	3.17日	3.28日	0.00%	35.63歳

コメント文

丹毒 蜂窩織炎を中心とした皮膚感染症が最も多くなっており 1週間前後の入院となります。皮膚腫瘍の手術目的の入院が多く全身麻酔下の手術も積極的に行っております。帯状疱疹は最近患者数が増えており重症例については神経痛後遺症の残存防止のため、積極的に入院加療をお勧めしています。

形成外科

DPCコード	公開用D P C 名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
160200xx030xxx	顔面損傷（口腔、咽頭損傷を含む。） 鼻骨骨折整復固定術等 手術・処置等 1 なし	63人	2.00日	3.24日	0.00%	28.75歳
160200xx020xxx	顔面損傷（口腔、咽頭損傷を含む。） 眼窩骨折視血的手術（眼窩ブローアウト骨折手術を含む。）等 手術・処置等 1 なし	41人	2.32日	5.99日	0.00%	38.83歳
070010xx970xxx	骨軟部の良性腫瘍（脊椎脊髄を除く。） 手術あり 手術・処置等 1 なし	15人	4.60日	4.67日	0.00%	55.33歳
090010xx05xxxx	乳房の悪性腫瘍 ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）	15人	5.53日	7.33日	0.00%	51.67歳
090010xx010xxx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴うもの（内視鏡下によるものを含む。））等 手術・処置等 1 なし	14人	14.57日	9.76日	0.00%	43.43歳

コメント文

形成外科では形成外科一般の症例を広く扱っています。当院の特徴として救急患者が多く、外傷・熱傷が多くなっています。そのうち、入院治療となるのは顔面骨骨折が多くを占めています。健康な患者さんが多いため、出来るだけ入院期間を短くし、社会復帰していただくようにしています。また、小児先天異常の手術にも力を入れており、なかでも口唇口蓋裂は、形成外科、矯正歯科、言語聴覚士、小児科、新生児科、耳鼻咽喉科などとチーム医療を推進しています。その他では、皮膚皮下腫瘍・軟部組織腫瘍（悪性、良性）切除・再建にも力を入れています。他科との共同で頭頸部再建外科、乳房再建、その他全身の再建外科も積極的に行っています。その他ケロイド、瘢痕拘縮、肥厚性瘢痕の治療にも力を入れています。特にケロイドは難治であり、ケロイド専門外来も開設し、病態解明、治療法の臨床研究も行っており取り組んでいます。

泌尿器科

DPCコード	公開用D P C 名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
110070xx02xxxx	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術+術中血管等描出撮影加算	163人	4.05日	6.77日	0.00%	76.53歳
110080xx01xxxx	前立腺の悪性腫瘍 前立腺悪性腫瘍手術等	84人	8.12日	10.98日	0.00%	72.07歳
11001xxx01x0xx	腎腫瘍 腎（尿管）悪性腫瘍手術等 手術・処置等2 なし	68人	8.25日	10.12日	1.47%	66.93歳
110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	55人	9.18日	13.42日	21.82%	72.58歳
110070xx03x0xx	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 手術・処置等2 なし	46人	4.13日	6.79日	2.17%	78.22歳

コメント文

泌尿器科悪性腫瘍は、前立腺癌、膀胱癌、腎癌の順に多く、前立腺癌や腎癌はロボットを使って手術する症例が年々増えております。膀胱癌の経尿道的内視鏡切除術は、最近アグリオを使用した光線力学診断を行うことが多くなっています。どの手術も前日あるいは当日入院を基本とし、バスの運用（膀胱癌4日、前立腺癌8日、腎癌7日で設定）によって在院日数を短くすることができております。当院は救急医療に力を入れており、尿路結石に感染症を合併して尿性敗血症となれば緊急入院となります。尿管にステントを挿入して全身状態が改善されたら、一旦転院あるいは転院して戴き、状態が落ち着いてから内視鏡で破碎術を行います。

産婦人科

DPCコード	公開用D P C 名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
120060xx02xxxx	子宮の良性腫瘍 腹腔鏡下腔式子宮全摘術等	131人	5.50日	5.90日	0.00%	45.93歳
120070xx02xxxx	卵巣の良性腫瘍 卵巣部分切除術（腔式を含む。） 腹腔鏡によるもの等	110人	4.99日	6.01日	0.00%	46.18歳
12002xxx01x0xx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮悪性腫瘍手術等手術・処置等2 なし	99人	7.80日	9.63日	0.00%	58.77歳
12002xxx02xxxx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮頸部（腔部）切除術等	80人	2.10日	2.90日	0.00%	42.21歳
120010xx01x0xx	卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍 子宮附属器悪性腫瘍手術（両側）等 手術・処置等2 なし	63人	9.92日	11.61日	4.76%	57.49歳

コメント文

産婦人科では悪性腫瘍の治療を多く行っており兵庫県内でも有数ですが、同時に良性腫瘍に対する治療も多く行っています。治療のため入院する症例で最も多いのは、子宮筋腫などの子宮の良性腫瘍です。腹腔鏡手術を積極的行っており、平均在院日数は5.5日で、全国平均の5.9日より短い入院期間となっています。

2番目に多い症例は、卵巣の良性腫瘍、いわゆる卵巣嚢腫です。ほとんどの症例を体への負担の少ない腹腔鏡手術で行っており、平均在院日数は5.0日で、全国平均の6.0日より短くなっています。

3番目に多い症例は、子宮頸癌や子宮体癌などの子宮頸・体部の悪性腫瘍に対する手術です。比較的早期の子宮頸癌や子宮体癌では、腹腔鏡手術やロボット支援下腹腔鏡手術を積極的行っており、平均在院日数は7.8日で、全国平均の9.6日より短くなっています。

4番目に多い症例は、子宮頸癌の初期や前癌状態に対して行う子宮頸部（腔部）切除術です。短期入院で行っており、平均在院日数は2.1日で、全国平均の2.9日より短くなっています。

5番目に多い症例は、卵巣癌などの卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍に対する手術です。進行した悪性腫瘍に対する手術も多く行っており、平均在院日数は9.9日で、全国平均の11.6日より短くなっています。

なお、DPC14桁コードは治療内容を細分化して分類しています。当科の実績については診療科別統計も併せてご覧ください。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

DPCコード	公開用D P C 名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
030230xxxxxxxx	扁桃、アデノイドの慢性疾患	69人	7.41日	7.32日	0.00%	24.88歳
030150xx97xxxx	耳・鼻・口腔・咽頭・大唾液腺の腫瘍 手術あり	62人	5.84日	6.63日	0.00%	57.74歳
030440xx01xxxx	慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫 鼓室形成手術等	56人	4.66日	5.96日	0.00%	46.55歳
030240xx99xxxx	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎 手術なし	55人	5.36日	5.60日	0.00%	42.87歳
030350xxxxxxxx	慢性副鼻腔炎	48人	5.52日	5.74日	0.00%	58.25歳

コメント文

DPC上位は、耳科疾患、扁桃疾患、頭頸部腫瘍であり、耳鼻咽喉科・頭頸部外科疾患のなかで多岐にわたり、近隣の先生方から手術を要する患者や気道の管理を要する患者を多くご紹介いただくことで症例数が多くなっています。いずれの疾患も平均在院日数が全国平均とほぼ同じで、患者用パス通りに入院生活を送られており、術後トラブルなく退院となっていることがわかります。

救急科

DPCコード	公開用D P C 名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
161070xxxxx00x	薬物中毒（その他の中毒） 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	104人	2.55日	3.49日	22.12%	35.53歳
161060xx99x0xx	詳細不明の損傷等 手術なし 手術・処置等 2 なし	41人	2.00日	2.60日	4.88%	38.34歳
160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	25人	8.92日	9.62日	28.00%	60.64歳
160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	23人	8.35日	7.84日	47.83%	61.04歳
170020xxxxxx0x	精神作用物質使用による精神及び行動の障害 定義副傷病 なし	20人	2.10日	2.68日	20.00%	49.70歳

コメント文

外傷、ショック、中毒は働き盛りの若年層に多く、つい今しがたまで健康だった人に降りかかる悪夢です。私たち救急科は、患者さんご家族の皆様が、この悪夢から早く目覚めることができるようサポートします。外傷、熱中症では六甲山系を登山中の事故が増えています。登山者の皆さんはスマホと予備の充電機を持参し、ココヘリ、ヤマレコ、YAMAP等レスキュー機能がある登山アプリに習熟することをお勧めします。薬物中毒や自殺企図等の精神科身体合併症患者さんは身体治療とともに精神科医、PSW（精神保健福祉士）と連携した精神疾患への対応が必要です。私たちは地域の精神病院とも連携しています。特に若年者のオーバードーズは、自殺完遂への入り口と言われ深刻な社会問題となっています。このたび神戸市精神福祉保健センターではオーバードーズ相談ダイヤルを開設しました。（電話番号：078-371-1966 開設時間：月曜～金曜（祝日・年末年始除く）10時30分～12時00分、13時00分～16時30分）ご本人、ご家族の皆様、一人で悩まずご相談ください。

膠原病リウマチ内科

DPCコード	公開用D P C 名称	患者数	平均在院日数		転院率	平均年齢
			自院	全国		
070560xxxxx00x	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	56人	12.39日	14.45日	1.79%	60.59歳
070470xx99x0xx	関節リウマチ 手術なし 手術・処置等 2 なし	12人	11.58日	14.88日	33.33%	75.33歳
070560xxxxx01x	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 あり	10人	20.10日	22.60日	10.00%	71.70歳
040110xxxx00xx	間質性肺炎 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	—	—	18.39日	—	—
070560xxxxx90x	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患 手術・処置等 2 9あり 定義副傷病 なし	—	—	22.58日	—	—